

## 高岡御車山展示館（仮称）の建設場所の選定について

### 1 経緯

国の重要有形・無形民俗文化財に指定されている「高岡御車山」を常時展示し、山町（御車山を保有し、祭を担っている 10 の町内。土蔵造りの町並みは国の重要伝統的建造物群保存地区）の文化を紹介・普及するため、御車山会館（展示館）を建設する構想が長年の課題となっていた。

平成 18 年から、幅広い市民等による「高岡御車山祭活性化検討委員会」で協議・検討が行われ、山町での意見集約を踏まえ、御車山会館の建設を目指す、建設場所は山町地区が相応しい、展示内容は実物・レプリカ併用案が望ましい - などの方向性が確認され、「高岡御車山祭活性化計画」に取りまとめられた。

高岡市ではこれを受け、高岡開町 400 年を契機として御車山展示館の建設を進めることとし、市の総合計画や中心市街地活性化基本計画に位置づけた。

### 2 建設場所の選定について

展示館の建設場所については、市から山町に対し、「展示館の建設適地を、山町の総意で取りまとめ選定してほしい。」と要請し、山町では、10 町の代表者からなる「高岡御車山祭検討委員会」を中心に選定作業に取り組んでこられた。

その結果、このたび次の場所を建設地としたいとの申し出があった。

#### 場所

土地地番	守山町 47 - 1 外・利屋町 21 外
面積	約 2,000 m <sup>2</sup> 前口 約 21m
地権者	団体（守山町）・個人（利屋町）
建物等	既存建物が建っているが、解体撤去の上、取得・確保の予定

### 3 建設場所について（市としての考え方）

山町から申し出のあった場所については、山町 10 町の総意として推薦されていることに加え、次の理由により、御車山展示館の建設場所に相応しいと考える。

#### 選定の理由

- ・ 山町 10 か町のほぼ中央部に位置し、また、県道（高岡氷見線）交差点から近く、来街者から分かりやすく、入りやすい場所にある。
- ・ 重要的伝統的建造物群保存地区の山町筋に面しており、同地区の歴史的町並みと

一体となった拠点施設として整備ができる。

- ・ 守山町側は山町筋、利屋町側も御車山の巡行路にあたり、ともに御車山祭とは深い関わりを持つ場所である。
- ・ 前後とも道路に面した土地が確保でき、敷地内の施設配置や両町内との連携という点でも、有効な活用が図られる。

(参考) 会館敷地の規模について

(全国の類似例、実物・レプリカ併用案を参考にした標準的規模)

敷地規模 約 1,600 m<sup>2</sup>

#### 4 今後の予定

- ・ 地権者と基本合意を得た上で、用地取得・確保等に向けた具体的交渉を進める。
- ・ 高岡御車山展示館建設計画検討委員会(仮称)を設置し、建設に向けた検討を行う。  
(学識者・専門家、市内各界各層、地元関係者等)

# 高岡御車山展示館(仮称)建設候補地位置図

